

2021年8月18日
月島機械株式会社

小山水処理センター汚泥処理・有効利用施設整備及び運営事業に関する基本協定の締結について

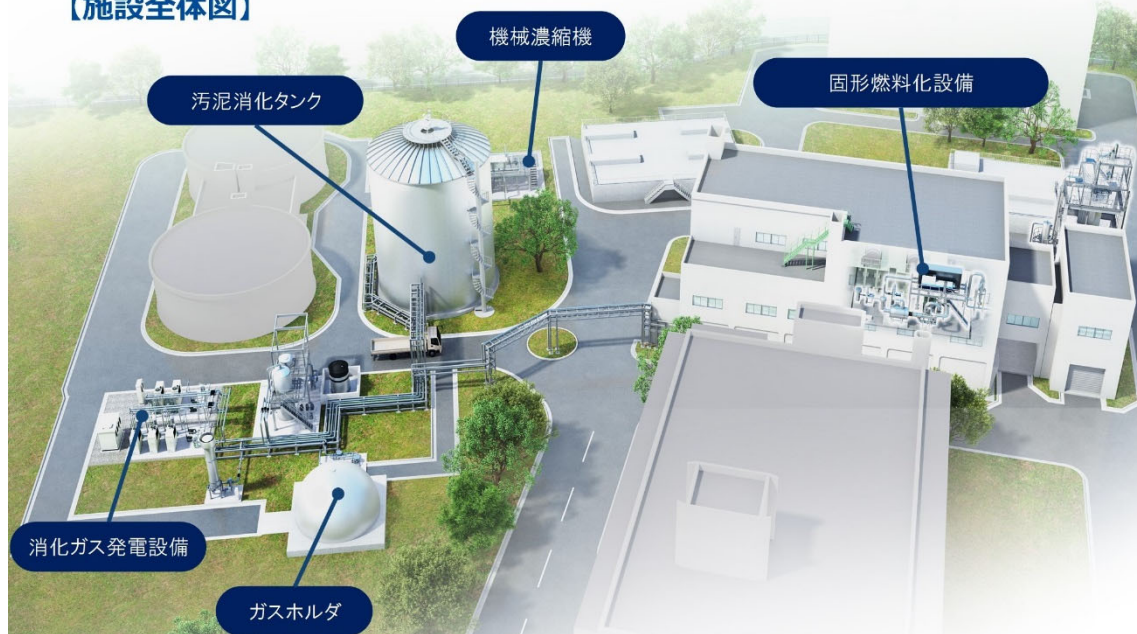
月島機械株式会社（社長：福沢 義之）を代表企業とする企業グループ（以下「本グループ」）は、小山市（市長：浅野 正富）と「小山水処理センター汚泥処理・有効利用施設整備及び運営事業（*添付参照）」（以下「本事業」）に関する基本協定を締結しましたので、お知らせいたします。

小山水処理センターは1976年の供用開始から約45年が経過しており、汚泥処理設備においては2004～2007年度に重力濃縮設備、汚泥脱水設備の改築を行っているものの、未改築の汚泥消化設備は老朽化が著しい状況でした。また、機能面では濃縮汚泥全量を汚泥消化設備に投入できず半分程度は直接脱水していることから、下水汚泥の持つエネルギーを全て有効利用できない状況でした。

本事業は、汚泥消化設備全体の改築、汚泥全量消化に伴う関連施設の新設・増設、消化ガス発電設備、固形燃料化設備を新設し、コストおよび温室効果ガス排出量を削減するものであります。事業方式は、民間のノウハウ、創意工夫を活用しさらに事業効果を引き上げるため、汚泥処理施設全体を事業範囲とするPFI事業として実施します。

当社グループは、代表企業、構成員ならびに協力企業の持つ経験とノウハウを結集し、汚泥濃縮、消化、消化ガス発電、固形燃料化設備（脱水乾燥システム）を新設する提案を行い、最優秀提案者に選定され、このたび基本協定を締結しました。今後は、11月に事業契約を締結し、2024年3月までに施設を設計・建設、2024年4月より2044年3月までの20年間にわたり維持管理・運営を行います。

【施設全体図】



導入する設備は、汚泥濃縮設備は豊富な実績を持つベルト濃縮機、汚泥消化設備は高い耐久性・安全性を持つ鋼板製消化タンク、固形燃料化設備は国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）において技術評価を得て技術導入ガイドラインが策定された脱水乾燥システムを採用します。また、汚泥消化設備で発生する消化ガスを燃料として固定価格買取制度（FIT）を活用した発電事業を行います。

当社は、下水処理場における下水汚泥処理に強みを持ち、汚泥消化設備、固形燃料化設備、消化ガス発電設備、固定価格買取制度（FIT）を活用した発電事業など豊富な実績を有します。今後もバイオマス資源である下水汚泥の有効利用を推進することで、地球温暖化防止と脱炭素社会・循環型社会の構築に貢献してまいります。

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 経営統括本部 広報室

TEL 03-5560-6503

《本事業に関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 水環境事業本部 PPP 事業推進室

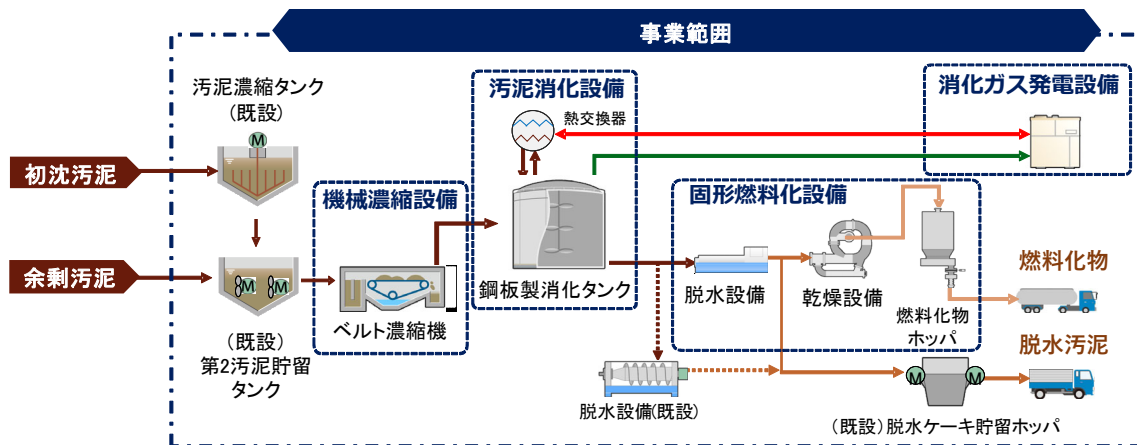
TEL 03-5560-6540

以 上

小山水処理センター汚泥処理・有効利用施設整備及び運営事業の概要

(1) 主要施設

	汚泥濃縮設備	汚泥消化施設	消化ガス発電設備	固形燃料化設備
概要	ベルト濃縮機	鋼板製消化タンク	ガスエンジン	遠心脱水機 円環式気流乾燥機
仕様	1基	1基	200kW	1系列



(2) 本グループ

代表企業	月島機械株式会社
構成員	株式会社東光高岳 株式会社ウォーターエージェンシー
協力企業	東洋建設株式会社 株式会社板橋組 株式会社斉藤組 月島テクノメンテサービズ株式会社

(3) 事業期間

設計・建設 2021年11月 ～ 2024年3月
維持管理・運営 2024年4月 ～ 2044年3月(20年間)